

第3学年 社会科学学習指導案

日時 平成20年11月13日(木) 5校時

場所 3年3組教室

学級 3年3組(男子14名 女子17名 計31名)

授業者 教諭 菅野 剛 英

1 単元名 第3章 わたしたちの暮らしと経済 (第1節 暮らしを支える経済)

2 単元について

(1) 教材観

現代の社会は経済活動が高度に発達した社会で、町にはたくさんの商品が並び、生徒は日常的に消費活動において経済活動にふれている。このような社会の中で生活する私たちに求められている力は「賢い消費者」になるための力であり、自らの生活を支え向上させるための力である。

学習指導要領では、公民的分野の目標の一つとして「国民生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深める」を設定しており、内容の取り扱いにおいて、「日常の社会生活と関連づけながら具体的事例を通して政治や経済などについての見方や考え方の基礎が養えるようにする」ように求めている。

本単元は2節で構成されており、第1節では「消費」を中心に経済活動のあらましを把握させ、「価格の決まり方」「生産と流通のしくみ」「金融のはたらき」について、具体的に理解させる構成としている。(第2節は国民生活と福祉)「日本経済の変化」と「食料と環境の問題」の項目は、より広い視野で経済について考えることができるような流れになっている。「賢い消費者」としてだけではなく、将来はあらゆる経済活動に携わり日本経済を支えていく生徒たちに、経済とは何か、その基礎的な見方や考え方の基礎が培われるようになっている。

(2) 生徒観

本学級の生徒は社会科の授業に対して意欲的な生徒が比較的多い。中には普段から新聞やテレビ等を活用し様々な情報に積極的に触れている生徒もいる。発言も活発である。しかし、発問に対して理論的に答えを導き出し発表できる生徒もいるが、反面、直感的、断片的な反応しかできない生徒、社会的事象に関心を持たず授業での取り組みも消極的な生徒もいる。また、家庭での学習の習慣が身につけていない生徒が多く基礎・基本の定着も弱い。

この単元で学習する経済の学習は憲法や政治などの学習と比べ比較的生徒の生活との関わりが深いため、興味・関心の面での差はさほど感じられず意欲的に学習している。

(3) 指導観

生徒の生活に関わりの深い内容が含まれた単元であるが、学習が概念的・知識偏重とならぬよう、授業では日常の社会生活と関連づけながら具体的事例を通して経済などについての見方や考え方の基礎を養っていききたい。そのために生徒の興味・関心の高い話題での導入や展開に終始こだわり、内容によっては体験活動などを多く取り入れたり実物資料などを使用するなど、個人と社会・経済との関わりが密接であることを深く理解させていきたい。更には、主体的に個人の生活向上を図ろうとする姿勢づくりにも努めていきたい。

3 単元の目標

身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の動きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、現代の生産のしくみのあらましや金融のはたらきについて理解させるとともに、社会における企業の役割と社会的責任について考えさせる。

4 単元の指導計画と評価規準

第1節 暮らしを支える経済 (10時間扱い 本時 7/10)

- 1 暮らしを見つめて～暮らしと経済・・・・・・・・・・1時間
- 2 消費者と暮らし～消費者と支払い・・・・・・・・・・1時間
- 3 消費者の自立～消費者を守るために・・・・・・・・・・1時間
- 4 ものの価格の決まり方～市場のしくみ・・・・・・・・・・1時間
- 5 市場は万能ではない～市場では決まらない価格・・1時間
- 6 企業はさまざま～生産と流通のしくみ・・・・・・・・・・1時間
- 7 会社のしくみと役割～会社の組織と運営・・・・・・・・・・1時間 (本時)
- 8 資金の貸し借り～金融のはたらき・・・・・・・・・・1時間
- 9 変わる産業～日本経済の変化・・・・・・・・・・1時間
- 10 資源をむだなく～食糧と環境の問題・・・・・・・・・・1時間

学習内容	評価規準			
	社会的な事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断	資料活用の 技能・表現	社会的な事象について の知識・理解
1 暮らしを見つめて	毎日の暮らしの中から経済活動との関わりについて意欲的に発表しようとする（以下全てに共通）	毎日の暮らしと経済活動の関わりについて、経済の三主体を中心に考えることができる		
2 消費者と暮らし			消費支出の内訳のグラフを読み取ったり、一覧表を作成することができる	所得と消費・貯蓄との関わりが理解できる
3 消費者の自立		消費者をめぐる問題点を理解し、その対策について考えることができる		
4 ものの価格の決まり方		価格の意味や役割、価格決定のメカニズムについて考えることができる	需要と供給と価格の関係のグラフを作成することができる	
5 市場は万能ではない		企業間の公正な競争が経済の発展に欠かせないことを考えることができる		企業の集中と独占が消費者の利益を損なうことがあることが理解できる
6 企業はさまざま			製造業における中小企業の割合のグラフを読み取ることができる	資本主義経済のしくみ、生産や流通の過程が理解できる
7 会社のしくみと役割	株式の売買ゲームを通して株式の性質について興味を持ちながら学習する			株式会社のしくみと役割が理解できる
8 資金の貸し借り	家計における金融の役割について関心を持ち、意欲的に調べようとする			中央銀行の役割が理解できる
9 変わる産業			資料から技術革新や情報化など経済のソフト化と第一次産業の実態を読み取ることができる	
10 資源をむだなく		食料との関わりから農林水産業の役割を考える		四大公害の内容を理解できる

5 本時の指導

(1) 目標

- ①株式の売買ゲームを通して株式の性質について興味を持たせる【関心・意欲・態度】
- ②株式会社の特徴やしぐみを理解させる【知識・理解】

(2) 本時の評価

観点	具体的評価基準		C：支援を要する生徒への手だて
	A：十分に満足できる	B：おおむね満足できる	
【関心・意欲・態度】 ・株式売買ゲームを通して株式の性質について興味を持ちながら学習している	指定された以外の企業の一覧からも意欲的に株式を購入する企業を選んでいる	指定された企業の一覧から意欲的に株式を購入する企業を選んでいる	企業を選定しやすいように企業の紹介をしたり一覧の見方を個別指導する
【知識・理解】 ・株式会社の特徴やしぐみを理解できる	株式会社のしくみを自力で学習シートに記入するなどして定着させている	教科書や板書を参考にしながら株式会社のしくみを学習シートに記入できる	参考となる資料など、記入する上での視点を個別に指導し与える

(3) 構想および個に応じた指導の工夫点

- ・実物の株式を用意し生徒の興味・関心を引き立てたい。その後、株主は配当を受けることができること、自由売買ができることなどを確認し、株式ゲームを行う。購入させ、どの生徒でも作業しやすいように工夫したい。また、個人で作業したい生徒については生徒の意思を尊重して作業させたい。
- ・株式会社のしくみは学習シートに容易に記入できるよう板書カードを利用するなど視覚に訴える教材を利用する。学習シートは基礎がすぐに一目で確認できるように配慮する。

(4) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価【方法】 支援の手だて
導入 5分	1 株式について知る 2 課題提示	1 実物を見せながら、株について知っていることを挙げさせる	・実物資料（株券）
展開 35分	学習課題 株式会社の特徴やしぐみについて学習しよう		
	3 株式の基礎知識を学ぶ	3 株式の性質について説明する (株式とは何か、株主、株主総会、配当などの語句) (株式は自由に売買できること、価格の変動があることなどを説明する)	・学習シート、補助シートを利用しながら理解を深めさせる ・株価変動グラフ
	4 株式ゲームに取り組む (株式を購入する)	4 グループの体制をつくり、株式ゲームの内容を説明する 【小グループ】	・選ぶ視点が見いだせない生徒や株式の一覧表の見方が分からない生徒への支援を行う ・意欲的に株式の購入に取り組んでいるか (観察法) 【関心・意欲・態度】
	5 株式ゲームに取り組む (株式を売却する)	5 持株を全て売却した後の金額を計算させる	・計算機などを利用させ、どの生徒でも参加できるように配慮する
6 ゲーム結果の発表	6 グループリーダーに結果を発表させる		
終末 10分	7 まとめ 8 自己評価と感想記入 (感想発表) 9 次時の予告	7 本時のまとめを行う 8 本時の自己評価と感想を記入させる 9 次時と小テストの予告を行う	・学習シート 【知識・理解】 ・感想を発表させる ・家庭学習について指導する

板書計画

<p>株券（株式）を発行して運営＝株式会社</p> <p>学習課題 株式会社の特徴やしぐみについて学習しよう</p> <p>○株式会社の良いところや特徴</p> <p>売り手（会社） 無理なく資金を集める</p> <p>買い手（株主） 配当を受け取ることができる 株主総会に参加できる 株式市場で自由に売買できる</p> <p style="text-align: right;">株価変動グラフ</p>	<p>株取引ゲーム</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>銘柄</th> <th>士</th> <th>順</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>D</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>E</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>F</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>G</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>I</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		銘柄	士	順	A				B				C				D				E				F				G				H				I				<p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; min-height: 100px;"> <p>生徒の学習シートのまとめ欄に対応する内容</p> </div>
	銘柄	士	順																																							
A																																										
B																																										
C																																										
D																																										
E																																										
F																																										
G																																										
H																																										
I																																										